

県立佐倉南高等学校

目 標

- ・ 生徒の留学等への興味関心を高める。
- ・ グローバル社会における国際理解，自国文化等発信の必要性和理解を促進する。

留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年11月11日（日） 9時から11時
- (2) 会 場：佐倉時代祭〔会場：新町通り（佐倉市立美術館前）、武家屋敷〕
- (3) 留学生等：敬愛大学の留学生等6名
- (4) 参 加 者：第3学年生徒2名、佐倉南高校教員2名、 計 4名
- (5) 内 容：

佐倉時代祭を留学生と一緒に散策見学し、外国人留学生に千葉・佐倉の魅力を伝える。また、武家屋敷をボランティアの人に説明してもらいながら見学し、昔の人々や武士の身分による生活様式の違いなどを理解し外国との比較をしながら交流を深めた。（日本語、留学生の話す言語、共通語である英語等を使って交流した。）

- (6) 事前学習：

前年度の時代祭の写真や資料を参考にしながら佐倉の歴史について学び、その説明が外国人留学生に的確にできるように話し合いの場を数回設けた。また、外国の歴史文化について参考文献や資料を基に留学生に尋ねてみたい質問などを各自でノート等にまとめた。総合的な学習の時間および地理Aの授業で、台湾の地理と文化について学習した。



(7) 事後指導：

あまり生徒にとってなじみのない地域・国について多くの質問ができたことを今後の学習につなげられると思われる。感想や写真をまとめ、今後、他の生徒たちへの発表活動の場を設ける。

(8) 参加者の感想等：

- ・自分たちの調べたことが伝わってよかった。
- ・普段あまり情報のない国のことを知ることができてよかった。
- ・英語だけでなく様々な国の言葉を聞くことができた。
- ・もっと多くの人たちと交流する機会を持ちたい。
- ・日本語が上手に話せる留学生を見て、自分も外国語をもっと学びたいと思った。

事業の成果

- ・ 自国の文化を再認識し、もっと深く学ぶ必要性を感じられたとともに、様々な文化の根付いている背景をさらに知りたいという意欲が生まれた。

今後考えられる新たな取組

- ・ 休日などにボランティアガイドをして佐倉をもっと多くの人たちに詳しく伝える機会を設ける。日本の歴史を他国と比較して世の中の動勢を議論できる知識をさらに身につけてディスカッションをする時間を学校行事として行うなどが考えられる。